

① 実施状況報告書(第1面)

様式第二号の九（第八条の四の六関係）				
(第1面)				
	産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
			5/22/2025	
群馬県知事     あて				
		提出者       〒150-8554		
		住    所    東京都渋谷区恵比寿1-20-8 エビスバルビル		
		氏    名                                  株式会社S U B A R U		
		代表取締役社長    大崎 篤		
		代理人    株式会社SUBARU群馬製作所長    福水   良太		
			(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
		電話番号 0276-26-2530（環境プラント技術部    環境技術課）		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物				
処理計画の実施状況を報告します。				
事業場の名称	株式会社S U B A R U群馬製作所    矢島工場			

① 実施状況報告書(第1面)

事業場の所在地	〒373-0822 群馬県太田市庄屋町1-1				
事業の種類	E 製造業 31 輸送用機械器具製造業 3111 自動車製造業（一輪車を含む）				
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日				
産業廃棄物処理計画における目標値					
	項目	目標値	項目	目標値	
	排出量	4177.4 t	全処理委託量	4177.4 t	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	2910.5 t	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	4177.4 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	
	※事務処理欄				
		(日本産業規格 A列4番)			

[illegible]



計画の実施状況				(産業廃棄物の種類：金属くず)																															
				有償物量																															
不要物等発生量																																			
				②				0t				⑤				0t																			
				排出量				自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量																											
				①				5.9t				③				0t								⑩のうち再生利用 業者への処理委託量											
																				⑫				5.9t				(第2面)							
項目				実績値				自ら中間処理 した量				自ら中間処理した 後の残さ量				自ら中間処理した後自ら埋立 処分又は海洋投入処分した量																			
①排出量				5.9t				④				0t				⑥				0t				⑨				0t							
②＋⑧自ら再生利用を 行った量				0t																								⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量							
⑤自ら熱回収を行った量				0t				④のうち熱回収 を行った量				自ら中間処理によ り減量した量								直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量				⑬				0t							
⑦自ら中間処理により減 量した量				0t				③				0t				⑦				0t															
③＋⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量				0t												⑩				5.9t				⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量											
⑩全処理委託量				5.9t																															
⑪優良認定処理業者への 処理委託量				0t																				⑭				0t							
⑫再生利用業者への処理 委託量				5.9t																⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量															
⑬熱回収認定業者への処 理委託量				0t												⑪				0t															
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量				0t																															



[illegible]

[illegible]



計画の実施状況				(産業廃棄物の種類: ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず )												
有償物量																
不要物等発生量				②0t				⑤0t								
排出量				③0t								⑩のうち再生利用業者への処理委託量				
項目				実績値		自ら中間処理した量		自ら中間処理した後の残さ量		自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量		⑫23.9t		(第2面)		
①排出量				23.9t		④0t		⑥0t		⑨0t						
②+⑧自ら再生利用を行った量				0t								⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量				
⑤自ら熱回収を行った量				0t		④のうち熱回収を行った量		自ら中間処理により減量した量		直接及び自ら中間処理した後の処理委託量		⑬0t				
⑦自ら中間処理により減量した量				0t		③0t		⑦0t								
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量				0t				⑩		23.9t		⑩のうち熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量				
⑩全処理委託量				23.9t												
⑪優良認定処理業者への 処理委託量				0t								⑭0t				
⑫再生利用業者への処理 委託量				23.9t						⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量						
⑬熱回収認定業者への処 理委託量				0t				⑪		0t						
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量				0t												



③実施状況報告書（第3面）

					(第3面)		
備考							
1	翌年度の6月30日までに提出すること。						
2	「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。						
3	「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載						
	した目標値を記入すること。						
4	第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)						
	に掲げる量を記入すること。						
	(1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量						
	(2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量						
	(3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量						
	(4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量						
	(5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量						
	(6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量						
	(7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量						
	(8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量						
	(9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量						
	(10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量						
	(11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令						
	第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量						
	(12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量						
	(13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
	第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量						
	(14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への						

## ③実施状況報告書（第3面）

[illegible]